

報道関係者各位

門司港レトロ観光列車の踏切事故及び注意喚起について

このたび、北九州市が施設を保有し、平成筑豊鉄道株式会社が運行している「門司港レトロ観光列車」の宝来町踏切において、自動車と接触する事故が発生いたしました。

乗客・乗務員にケガはありませんでしたが、観光列車をご利用いただきました皆さまにご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

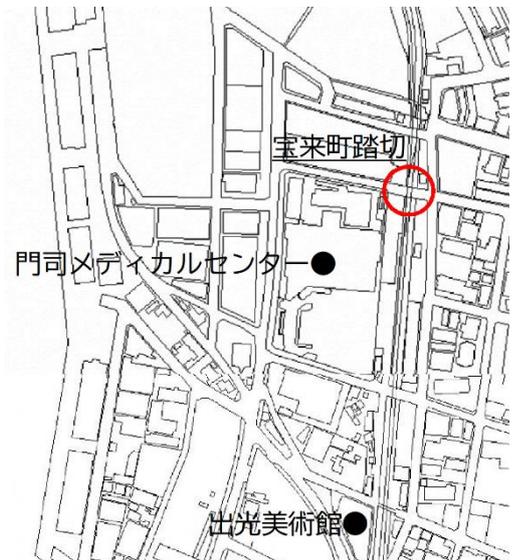
また、門司港レトロ観光列車の踏切を通過される方々におかれましては、「一旦停止」や「左右の確認」など、十分に注意して横断していただきますようお願い申し上げます。

記

1 事故の概要

門司港レトロ観光列車の下り（九州鉄道記念館駅→関門海峡めかり駅）の運行中に、宝来町踏切（門司メディカルセンター付近）において、遮断機が下りている状況で普通自動車が踏切内に侵入し、列車と接触したものの。

- ・日 時：令和5年9月3日（日）16時45分頃
- ・場 所：宝来町踏切（門司区東港町3丁目）
- ・事故内容：観光列車と普通自動車の踏切内での接触事故
- ・事故原因：不明（現在、警察調査中）



2 観光列車の乗客について

- ・乗客は20名で、全員に怪我なし。
- ・平成筑豊鉄道が手配したタクシーにて門司港駅又は関門海峡めかり駅まで送る。
（運賃は払い戻し）

3 周辺への影響

- ・道路（宝来町踏切）は、警察等による事故処理のため、2時間程度（18時45分まで）一時通行止め。

4 事故発生後の当日の運行について

- ・列車は、事故後、運行を取りやめ、車庫で車両検査を実施。
- ・当該列車は、下り（九州鉄道記念館駅→関門海峡めかり駅）の最終列車であったため、関門海峡めかり駅で乗車を待っていた乗客（15名）は、西鉄バスに誘導し、門司港駅まで送迎。
（運賃は払い戻し）

5 車両・踏切の損傷について

- ・車両は、車両先頭部のステップが一部破損しているが、運行には支障なし。
- ・踏切設備（宝来町踏切）は、外観では損傷が見られないが、本日、技術スタッフが電気系統及び軌道関係等の検査を行い、運行の可否の判断を行う。

6 明日以降の運行について

- ・観光列車は、土日が定期運行。
- ・ただし、9月5日に貸し切り運行予約が入っているため、本日の検査で問題が無ければ5日には運行再開となる見込み。

【問い合わせ先】施設全般について
産業経済局門司港レトロ課
大浦（課長）、長門（係長）
電話：093-322-1188

【問い合わせ先】運行、事故の状況等について
平成筑豊鉄道株式会社
中村（所長）、田中（課長）
電話：093-331-1065